



獨協大学 × 石川町中谷地区

獨協大学

地域活性化プロジェクト
中谷地区チーム

1. 中谷地区チーム について

チームの概要

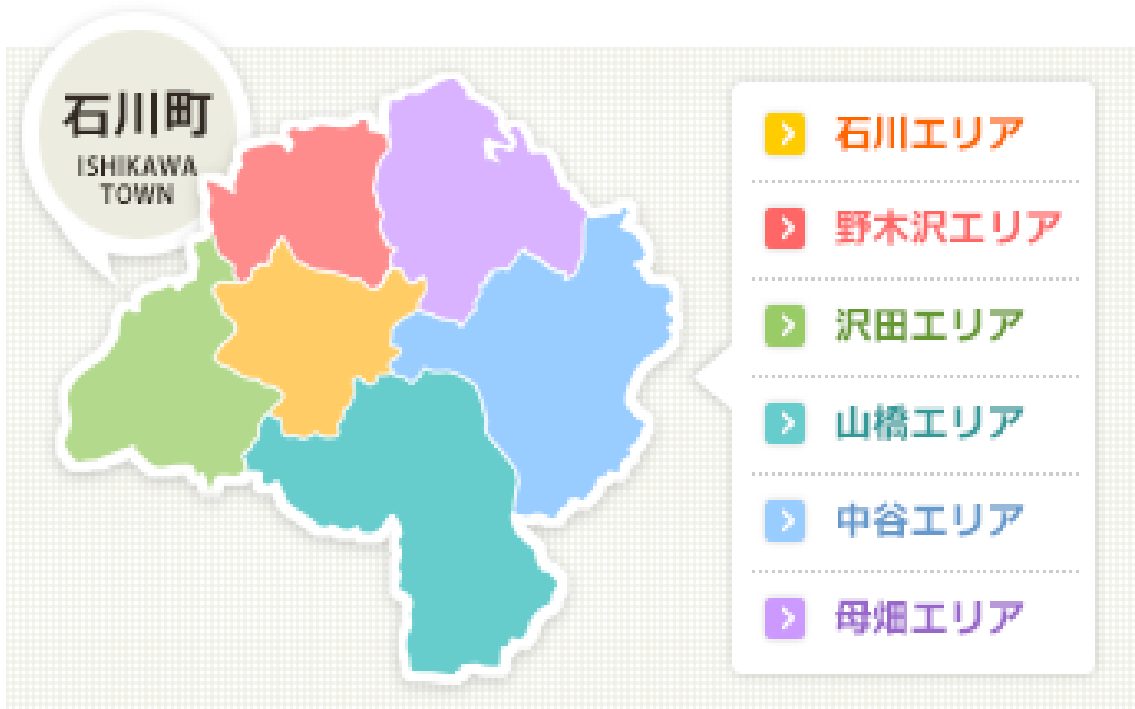
- ・ 4年生3名、3年生6名の計9名で活動。
- ・ 内6名の学生が外国語学部 zu 所属しており、語学力や海外経験が豊富。
- ・ 3名が福島県出身、3名が福島県事業への参加経験があり、福島にゆかりのあるメンバーが多い。

本事業への応募理由

福島県にゆかりのあるメンバーをはじめ、ふるさとワーキングホリデーや海外でのボランティア・ワーキングホリデー経験者が多く、これまでに培ってきた経験や知識を生かし、福島県の発展に貢献していきたいと考えたため。



2. 中谷地区のイメージと実際



活動前に捉えていた地区のイメージ

- 静か、のどか、山に囲まれた町(地区)
- 主要となる産業がない
- 学法石川高校がある

活動をしてわかった地区の実際

- 地区の人々には活気とつながりがある
(定期的な文化祭やお祭りなどの実施)
- 様々な産業、事業への取り組み
(廃校・空き家リノベーション, 山葡萄栽培・加工・販売)
- 人々がみな温かい

出典: 石川町役場ホームページより
(<https://navi.town.ishikawa.fukushima.jp/>)



3. 今年度の活動 第1回現地調査 (10月19,20日)

- 地域の方たちとの交流・ヒアリング
(山葡萄協議会、角田さんなど)
- 「ひとくらす」さんでの宿泊・林業体験
- さつまいも収穫体験
- 文化祭準備

石川町立歴史民俗資料館

SINCE 1974



第2回現地調査
(11月23,24日)

- 石川町歴史民俗資料館「イシニクル」の見学
- 「堂平ガーデン」での宿泊・植樹体験
- 石川町の伝統的なお祭り「八槻市」の視察

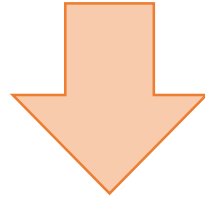
学内イベント Earth Week Dokkyo での活動

- 11月の活動で掘らせていただいたさつまいもを活用
- 現物のまま、焼き菓子や焼き芋に加工して販売
- SDGsへの働きかけや、商品になれない野菜の現状や思いを知ってもらう働きかけ



4. 活動により発見した課題、活かすべきこと

- 各年齢層ごとの考えのギャップ、交流が希薄
- 非日常かつクリエイティブなイベントが少ない
- 地域の特色を生かしきれていない



町にある施設や
地元の食材、学校などの
地域資源を活かしていく



5. 課題解決のための提案、考察

地域にあるものを生かした企画・イベントの実施

〔企画案〕

- 広大な土地を生かしたビアガーデンやライトアップイベントの実施
- 地元の野菜を使った料理作り
- 町や地区をめぐるスタンプラリーの実施
- 石川町の小・中学生に向けた教材作成
- 石川町についてのビデオ(日本語・英語)を作成・発信
- お弁当販売のパッケージの作成

地域の方々を巻き込んで行っていくことで、地元の人々が楽しんで、笑顔になってくれるイベントを実施

6. 今後に向けて

- 中谷地区そして石川町を盛り上げるをモットーに活動。
- 小さなことでもできることから行動に起こす。
- 町の人々と協力し、視察の回数を増やしながら更なる交流を図る。

